

令和 6 年度

「運営に関する計画」

大阪市立東粉浜小学校

(様式 1)
大阪市立東粉浜小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

社会に出て、夢をつかむことができる子どもを育てる

【 設定理由 】

アメリカの大学教授であるキャシー・デビッドソン氏によると、「2011 年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの 65% は大学卒業時に、今は存在していない職業に就くだろう。」と予測した。将来、グローバル社会になり、仕事の自動化、AI 化、ICT 化が加速する。

そんな社会で生き抜くには、自ら主体的に取り組み、指示待ちではなく、自ら解決する能力を持ち、クリエイティブな発想、創造、企画ができることが大切である。同時に、ロボットにはない、人間的感覚、優しさ、思いやりに満ちた豊かな心も必要である。

そこで、夢を持ち、その夢の実現に向かって、見通しを持って努力を続けることができる子ども、自他ともに認めあい、支えあうことができる社会を担う子どもを育てることが、未来へつながる教育と考える。

現状と課題

「安全・安心な教育の推進」では、常に児童に寄り添い、継続的、組織的に取り組み続けてきた。児童の言動から危機感を感じた時にはすぐに情報共有をし、組織的に対応を検討し、関係諸機関とも連携した結果、大きな問題になる前に落ち着きを取り戻すことができた。また、定期的に来校している SC や SSW とも連携を密にし、継続的な見守りを続けている。今後も、常にいつ再発するかもしれないという危機感を持ちながら見守り続けていく。さらに、一人一台学習者用端末を活用し、スクールライフノートの「心の天気」「相談機能」「いいとこみつけ」も日々チェックし活用をしていく。

「未来を切り拓く学力・体力の向上」では、学力面では学力経年調査の標準化得点で、概ねどの学年もほぼ 100 を超えることができており、一定の学力の定着を図ることができている。体力面では、今年度から 3 年生以上で体育専科を取り入れたこと、シナプソロジーを取り入れた授業を実践したこと、頑張りカードが励みとなったことなどもあり、休憩時間等に外で体を動かしている児童を多く見るなど、一定の成果はみられている。ただ、高い気温が続き熱中症対策のため運動場に出られない期間が続く時期があったこともあり、コロナ禍で低下した体力が回復してきているとは一概には言えない。今後、学力面ではさらに読解力を伸ばし、まず自分の思いをしっかりと持ったうえで、コミュニケーション力をさらに磨き、周りの人に伝えあい、深めあえるように育んでいく。体力面では、系統立てた専科指導による計画的な体育学習を進めたり、意欲的に取り組んだりすることができる体育行事やそれに関連する頑張りカード、表彰などを工夫することで、より意欲的にすすんで体力向上に努めていくように働きかけていく。

「学びを支える教育環境の充実」では、今年度取り組んだリーディング DX スクール事業の成果と課題を踏まえて、より効果的に一人一台学習者用端末や ICT 機器を活用し、個別最適な学びに取り組み、協働学習で自分の考えをさらに深め、練り上げることができる授業を工夫していく。また、引き続き、保護者・地域や関係諸団体と連携しながら、地域に古くから伝わる伝統文化等をはじめとする様々な教育的資源を学習過程に取り入れ、教科横断的な学習として活用することにより、郷土愛を育み続けていく。同時に、

専門家による「本物」を体験できる特別授業を数多く実践することで、心揺さぶる感動体験を引き続き取り入れていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を、毎年、増加させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も令和3年度より4ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を60%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査において、「毎日決められた時刻に寝ていますか」「毎日決められた時刻に起きていますか」「毎日朝食を食べていますか」（早寝早起き朝ごはん）それぞれに対して肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を90%以上にする。
- ゆとりの日や午後6時までに全教職員が退勤する日を週1回以上設定する。
- 令和7年度末の校内調査において、「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
(R5年度 76.3%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
(R5年度 84.6%)

○小学校学力経年調査における「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。(R5年度 84.6%)

○生活振り返りカード（東粉浜マイスターカード）の各項目について毎月保護者と児童が話し合い、学校や家庭生活を振り返り、自己の課題を明確にして改善に取り組む。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 45%以上にする。(R5年度 43.6%)

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 73%以上にする。(R5年度 71%)

○令和6年度末の校内調査において、「早寝・早起きができている。」に対して肯定的な回答をする児童の割合を 80%以上にし、「毎日朝食を食べている」に対して肯定的な回答をする児童の割合を 90%以上で維持する。

(R5年度 早寝早起き 75.9%、朝食 96.1%)

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の 8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く]

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を 93%以上にする。(R5年度 92.6%)

○年度末の校内調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上を維持する。(R5年度 84.2%)

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2-1)

大阪市立東粉浜小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。(R5年度 76.3%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。(R5年度 84.6%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。(R5年度 84.6%)</p> <p>○生活振り返りカード（東粉浜マイスタークード）の各項目について毎月保護者と児童が話し合い、学校や家庭生活を振り返り、自己の課題を明確にして改善に取り組む。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめ・不登校への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや不登校など配慮が必要な児童の問題解決について、各学級担任・生活指導部長・養護教諭・管理職が連携して、組織的かつ外部機関とも連携しながら丁寧に対応していく。 ・いじめ（いのち）について考える日や道徳授業において、いじめ（いのち）について深く考える授業を行う。 <p style="text-align: right;">()</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配慮や支援の必要な児童について、スクリーニングシートの活用や共通理解の場を月一回設ける。 ・いじめ（いのち）について考える日や道徳授業において、学期に1回以上いじめに関する指導を行い定期的にいじめについて考える機会を設ける。 	
<p>取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>防災・減災教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災や地震・津波の避難訓練、引き取り訓練、不審者対応訓練、救急救命講習会などを計画し、区役所、警察、消防署などとも連携しながら、取組を進める。 ・子どもの意識を高めるため、防災学習に取り組む。 <p style="text-align: right;">()</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、引き取り訓練、防災学習等、様々な状況を想定した命を守る学習を計 	

画的に実施する。

取組内容③【2 豊かな心の育成】

自尊感情の育成

- 日々の授業や学級活動、他学年との交流活動を通して、自分のよさに気づいたり、仲間に認められたりする場を設ける。

()

指標

- 生活振り返りカードにおいて、「まわりにいる人から、『ありがとう』や『すごいね』と言われたことがありますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上で維持する。(R5 年度 94.0%)

取組内容④【2 豊かな心の育成】

道徳教育の推進

- 道徳教育の充実を図り、子ども同士が意見を交流することができる授業を展開するため、道徳教育推進教師による研修会などを活用して、学校全体での授業の方法や評価のあり方に対する理解を深める。()

指標

- 道徳科における研修会などを活かし、1 日学校公開日を年間 1 回の「道徳の日」と設定し、その日の様子をホームページに公開し、保護者や地域に発信する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立東粉浜小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を45%以上にする。(R5年度 43.6%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を73%以上にする。(R5年度 71%)</p> <p>○令和6年度末の校内調査において、「早寝・早起きができている。」に対して肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にし、「毎日朝食を食べている」に対して肯定的な回答をする児童の割合を90%以上で維持する。</p> <p>(R5年度 早寝早起き 75.9%、朝食 96.1%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究をすすめ、全学年で思考ツールを活用した主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業研究に取り組むと共に全教員が一人1回の公開授業を行い、全教員の指導力を高めていく。 <p>()</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活振り返りカードにおいて、「授業で自分の意見を言ったり、友達と話し合ったりすることが楽しい」を肯定的に答える児童の割合を85%以上で維持する。(R5年度 92.0%) ・年度末の教員アンケートで「授業にICTを活用して指導する能力」の項目について、肯定的に回答する教員の割合を80%以上にする。 <p>()</p>	
<p>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>英語教育の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年週2回のフォニックス活動、3・4年生の外国語活動、5・6年生の外国語科を中心とした決められた時間を、ヒアリングとアウトプットを意識して実施する。 <p>()</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活振り返りカードにおいて、「英語の学習は楽しいですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上で維持する。(R5年度 86.9%) 	

取組内容③【5 健やかな体の育成】

体力・運動能力向上のための取組の推進

- ・大阪府の体育応援・向上事業の取り組みや体力向上推進事業、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析も参考にしながら、体育科の学習時間内の運動量の向上、ならびに普段の生活の中での運動（外遊び）する習慣が身につくようする。
- ・体育的行事やチャレンジ大会、頑張りカードの活用、校内での表彰等、児童の体力向上への意欲をさらに高めていく。

（ ）

指標

- ・毎月の生活振り返りカードの運動（外遊び）をしたと肯定的な回答をする児童を85%以上を維持する。（R5年度 86.0%）

取組内容④【5 健やかな体の育成】

健康教育・食育の推進

- ・児童の規則正しい生活習慣が身に付くよう、「早寝早起き朝ごはん」をキーワードに、指導と啓発を行う。

（ ）

指標

- ・生活振り返りカードにおいて、各家庭で決めた時刻で「早寝・早起きができるようになった。」に対して肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にし、「毎日朝食を食べている」に対して肯定的な回答をする児童の割合を90%以上で維持する。

（R5年度 早寝早起き 75.9%、朝食 96.1%）

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2-3)

大阪市立東粉浜小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を93%以上にする。(R5年度 92.6%)</p> <p>○生活振り返りカードにおいて「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上を維持する。(R5年度 84.2%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育DXの推進】</p> <p>ICTを活用した教育の推進</p> <p>○主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業を進めるとともに、大型モニターやPC、一人一台学習者用端末の活用に努め、ICTを有効活用した授業を学年の発達段階に応じて推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活振り返りカードにおいて、「デジタル教科書やパソコンなどを使って学習したことがよくわかった」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 	
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務時間を減らし、教職員の健康管理をすすめる。 ・教科担任制や、SSSの活用、学校行事の精選や会議時間の短縮に努める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日や午後6時までに退勤する日を週1回以上設定する。 	
<p>取組内容③【8 生涯学習の支援】</p> <p>「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが読書を好きになる仕掛けをできることから積極的に取り組んでいく。(読書タイム、おすすめ本の紹介、読み聞かせ、本の帯づくり等) <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活振り返りカードにおいて、「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上で維持する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点